

一般社団法人 島根県卓球協会 国民体育大会 選手選考について

成年の部

1. 全国大会入賞者・上位進出者を次年度の代表内定選手とする。
 - 該当大会と成績（優先順位は①②③の順とする）
 - ①全日本選手権一般の部 ベスト 3 2 以上
 - ②全日本社会人 ベスト 1 6 以上
 - ③全日本学生選手権 ベスト 1 6 以上

* 日本卓球協会などから推薦を受け、国際大会日本代表に選出され、大会日程が国体選手選考会と重なった場合など、特別な選手については強化委員会で審議を行い、正副会長、正副理事長会で代表内定選手として決定する場合がある。ただし、戦績による代表内定選手は最大 2 名までとする。
2. 国民体育大会島根県代表選手最終選考会の成績を基本としつつ、年間で国体選手選考会に定められている県協会主催の県大会、中国大会、全国大会の成績を考慮しながら、強化委員会で審議を行い、正副会長、正副理事長会で代表選手を決定し、理事会に報告する。

少年の部

1. 全国大会入賞者・上位進出者を次年度の代表内定選手とする。
 - 該当大会と成績（優先順位は①②③の順とする）
 - ①全日本選手権一般の部 ベスト 3 2 以上
 - ②全日本選手権ジュニアの部 ベスト 1 6 以上
 - ③インターハイ ベスト 1 6 以上

* 日本卓球協会や全国高体連などから推薦を受け、国際大会日本代表に選出され、大会日程が国体選手選考会と重なった場合や、全国中学大会で優勝するなど特別な選手については強化委員会で審議を行い、正副会長、正副理事長会で代表内定選手として決定する場合がある。ただし、戦績による代表内定選手は最大 2 名までとする。
2. 高体連年間ランキングポイント最上位者を代表内定選手とする。
 - * 1.に該当する選手は除く。1.に該当する選手が 2 名以上いた場合、2.の選手は代表内定とならず、最終選考会に出場する。
3. 国民体育大会島根県代表選手最終選考会の成績を基本としつつ、強化委員会で審議を行い、正副会長、正副理事長会で代表選手を決定し、理事会に報告する。高体連ランキングポイントは前年度インターハイ、全国中学大会、全日本ジュニア予選、県高校新人戦と、当該年度の中国高校県予選、県高校総体、中国高校の成績を累積して算出する。最上位者は 2.により代表内定、2 位 3 位の選手は最終選考リーグ戦から出場、以下予選トーナメントシード資料とする。